

# 令和3年度の事業報告書

令和3年4月1日から令和4年31日まで

法人名 特定非営利活動法人ブエンカミーノ

## 1 事業の成果

本年度は「中国5県休眠預金等活用事業」を受託実施することとなり、年度初めより、就労支援事業のための農作業環境の設備拡充に注力することができた。ビニールハウスを2棟設置、必要な農機具を購入、新たな農作業場（倉庫）を整備し、安佐北区亀山（事務所拠点）にて若者や地域ボランティアさんたちと農作業を行う場所が創設された。また、薪割機を購入したことにより、予てより課題だった行き場のない間伐材を利用して、団体として新たに薪づくりを開始する運びとなった。

前年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、大規模な収穫祭や宿泊を伴うワークキャンプなどの募集を自粛せざるを得なかったが、新たに使用することが決まった古民家（通称岡崎ハウス）を最大限活用し、地域ボランティアによるそば打ち教室や、ハロウィンパーティ、サマーキッズなどの日帰り子供向けイベントを行うなど新たな活動を実施する機会を得た。古民家の掃除や維持管理に関しては、地域の高齢者によるボランティアグループが積極的に関わってくれたことで大変助けられた一年だった。

また新たな試みとして、家庭裁判所からの「補導委託事業」を受けることとなり、少年院に入るかどうかの瀬戸際にいる少年少女の受入れ団体として、秋から1名（10代男性）を共同生活に迎え入れることとなった。3ヵ月弱の当団体での自立支援を通し、定期的に担当保護観察官や弁護士、家族らと協働しながら、彼の退所後の進路や生活について本音で話し合いを重ねることができ、本人も周りも納得する形で送り出せたように思う。

総括して、本年度は新型コロナウイルスの影響もあり、共同生活やワークキャンプなどへの積極的な若者の受入れに向けて動く機会は少なかったが、その分、スタッフは圃場の拡大や農作業設備の拡充に集中することが可能となり、また、古民家（居場所）の整備や新たな活動（薪づくり）への足掛かりも叶い、次年度からの若者新規受入れに向けて環境を整えることに注力できた一年であったと言える。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業名)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額（単位：千円）
---------------------	----------	---	------------------------	---------------

就労訓練事業	農業を通して就労に必要な体力や社会的スキルを身に付ける	(A) 年中 (B) 安芸高田市八千代（農場）、安佐北区亀山（農場） (C) スタッフ3名 ボランティア5名	(D) 広島市、及び全国の概ね若者 (E) 27名、のべ人数174名	約 2,000,000 円
共同生活事業	団体シェアハウスにて共同生活をしながら、対人コミュニケーションや、生活スキルを身に付ける	(A) 年中 (B) 安佐北区亀山（シェアハウス） (C) スタッフ2名 ボランティア1名	(D) 広島市、及び全国の概ね若者 (E) 17名、のべ763名	約 2,000,000 円
農業体験事業	農業体験イベント、サマーキッズ（夏休み中のこども向けイベント）、災害ボランティア、餅つき大会など	(A) 8/4,11,21,28,9/4,25,10/24,12/29,3/28,29（計10回） (B) 安芸高田市八千代（農場）、安佐北区亀山（農場、古民家） (C) スタッフ3名 ボランティア10名	(D) 広島市在住の全ての年代 (E) 162名	約 285,736 円

(2) その他の事業

実施しなかった